

佳作

がんばったなわとびけんてい

愛知県 岡崎市立梅園小学校二年 南部 美雨

わたしはなわとびが大好きです。ようちえんのころからよくとんでいました。

一年生になって、ふゆに学校でなわとびけんていがありました。生とせんいんがおなじけんていひょうをつかっているのです。上の学年の子にいったり、おいこしたりすることができません。四年生のおねえちゃんは、三年生までにいきゅうをこうかくしているのです。四年生からは三じゅうとび前まわしをれんしゅうしています。わたしは、なわをびゅんびゅんまわして、たかくとんでいるおねえちゃんを見て、はやくわたしもあんなふうにとんでみたいとわくわくした気もちになりました。

十二月になわとびけんていはじまって、すぐに六きゅうまでこうかくできました。でもどうしてもあやとびうしろまわしが三十かいとべず、そのまま

ふゆ休みに入ってしまった。わたしはとてもくやしかったので、ふゆ休みにまい日れんしゅうをしました。ふゆなので、外はとてもさむいです。さむさにまけそうになりながられんしゅうしていると、何日かしてあやとびうしろまわしは三十かいとべるようになりました。そして、のこりのふゆ休みは少しでもおねえちゃんにおいつけるように、もっとむずかしいわざにちょうせんしようと四きゅうのわざのれんしゅうをはじめました。四きゅうから二きゅうまでは、二じゅうとび前まわし、二じゅうとびうしろまわし、あや二じゅうとび前まわし、こうさ二じゅうとび前まわしのわざになり、きゅうが上がるにつれてとぶかい数がふえます。四きゅうのわざはむずかしくて、れんしゅうしてもせんぜんとべるようになりません。なわをはやくまわさないとれんぞくでとぶことができないけれど、なわをはやくまわすと、ひっかかったときにいきおいがついて、かおや体にあたるものすごくいたいです。わたしはなわがあたるのがいたいし、こわくて、やっぱり一年生ではむりなんだとあきらめてしまいそうになりました。でも、おねえちゃんにはやくおいつきたいので、がんばってれんしゅうをしつづけました。

そして三学きになり、またなわとびけんていがはじまりました。まず五きゆうをごうかくし、つぎは四きゆうです。わたしはふあんだったけれど、れんしゅうでいちばんとべたときのことをイメージしてとびました。わたしは四きゆうをとりこして三きゆうまでごうかくできました。一年生で一ばん上のきゆうをごうかくすることができ、校ちょう先生からひょうしょうじょうをもらいました。

おねえちゃんにおいつくことはできなかったけれど、れんしゅうをすればしたぶんだけ、とべるようになったなわとび。なわとびだけでなく、これからもあきらめずにいろいろなことにちょうせんしたいです。二年生ではおねえちゃんにおいつけるように、またこのふゆも、なわとびけんていがんばります。